

学外研修報告

共通機器部門 共通利用機器管理班 木村真吾

1. はじめに（目的等）

第8回生命医薬情報学連合大会 IIBMP2019 に発表および情報交換等を目的として参加した。

2. 期間・場所

期間：令和元年9月9日（月）～ 9月11日（水）

場所：東京工業大学 大岡山キャンパス（東京都目黒区大岡山 2-12-1）

3. 参加者等

延べ400名以上（大会運営発表）

4. 研修内容

1日目 招待講演1件

ポスター発表

BoFセッション、口頭発表

キャリアパスセッション

2日目 JSBi 名誉会員就任記念講演2件

ランチョンセミナー

ポスター発表

スポンサーセッション、BoFセッション、口頭発表

3日目 日本オミックス医学会シンポジウム

ランチョンセミナー

招待講演

一般公開講演

5. まとめと感想

報告者が担当する次世代シーケンサーデータ解析に関連し、「Detection of structural variants in cancer tissue by nanopore sequencer MinION」という題目でポスター発表を行った。同分野に関わる研究者や臨床医から多くの貴重な意見をもらうことができた。そして様々な講演、セッションを通じて現在の医薬・生命情報科学分野における最新の研究手法と課題について知ることができた。例えば「CWL Live Coding Session」と題された BoF セッションでは現場ですぐに使えるようなデータ解析ワークフローを実践形式で体験することができた。他にも病理画像の AI 自動分類手法など、様々な用途に応用可能なものについて知見を得ることができた。本会に参加して得られた知識と人的ネットワークを職場にも共有し、今後の業務に活かしたい。